

2022年4月24日

“マリヤの喜び” (Mary's Joy)

前奏

鈴木義兄

賛美歌 154番

地よ、声高く、告げ知らせよ 今日イエス君は よみがえれり
いのちの君は あまつ園に われらを召して 入れたまえり

とこよのひかり てりかがやく みくらにいます 君を仰がん
あめよりもるる かちうたにぞ 地なるわれらも 声をあわせん

あめよよろこべ つちようたえ ものみなともに ほめたたえよ
イエス君きょうぞ よみがえれる ああかぎりなき さかえの日よ

聖書拝読 ヨハネによる福音書 21章 1—14節

説教 “用意された朝食”

Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“マグダラのマリヤは弟子たちのところにおいて、自分が主に会ったこと、またイエスがこれこれのことを自分に仰せになったことを、報告した。” (ヨハネによる福音書 20章 18節)

1970年代の初め、日本で大きな話題となったのが、戦争中に行方不明になった兵士がフィリピンの奥地で発見されたことでした。それから数年後、また別の日本人の元兵士が同じくフィリピンの奥地で発見されました。当時は子供ながら、彼ら出迎えられたニュースで一時は持ちきりだったことを覚えています。行方不明で他界したと思っていた人たちの発見、そして再会というドラマは、記憶の中に鮮烈な印象を残しました。

聖書の中には様々なドラマが描かれていますが、その中でも一番のドラマは主イエスの復活、そして弟子たちとの再会でしょう。悲惨な十字架への道のりと、最後を遂げられた主イエスが、3日目によみがえられた、という驚くべきエピソードは、空になった墓を目撃したマグダラのマリヤの行動に良く表れています。彼女は、弟子たちのところへ行って、自分が主イエスに出会ったことを知らせました。

この時のマリヤは驚きだけでなく、大きな喜びに満ちていたと思います。主イエスから命じられただけでなく、彼女自身も伝えられずにいられない、という気持ちがあらわれています。主イエスのよみがえりは同じように、私たちにとっても喜びでしょうか？この喜びがあるかどうかで、イースターの意味が違ってくるのではないかと思います。皆さんの上にマリヤとおなじような、よみがえりの喜びがあります様に、お祈りします。(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

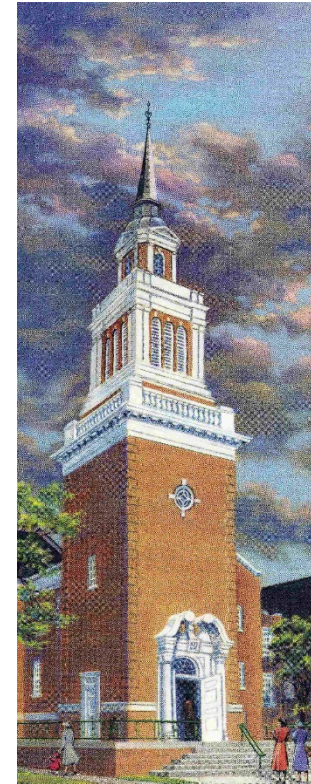
お知らせ

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのパプテスト教会へ送られます。

<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。

発行：2022年4月20日ノースショアパプテスト教会日本語部
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)
電話：773-728-4200



週報

第3869号
2022年4月24日

ノースショア パプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org